

本年度上半期の財政状況を公表
一般会計・特別会計で予算の34.9%を支出済み

市では、市民の皆さんにより一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、定期的に市の財政

状況を公表します。
今回は、平成20年4月1日から平成20年9月30日までの半年間の予算

執行および基金、地方債の状況をお知らせします。

約18億9千万円の増額補正

本年度上半期の予算の状況を下の表にまとめました。上半期では一般会計は16億8,885万円の増額（繰越明許費含む）、特別会計は2億540万円の増額補正を行いました。

総額では一般会計が291億7,885万円、特別会計は合計で146億6,180万円、企業会計は71億2,660万円となり

ました。
補正予算の主な内訳は、6月には一般会計で地震体験車購入3,374万円、林道大沢線災害復旧工事715万円を増額補正しました。
9月には残土処分場用地購入9,600万円、じん芥処理施設の燃料費8,819万円、小学校耐震補強計画業務

委託1,899万円を増額しました。
また特別会計では、国民健康保険事業特別会計で、前年度退職者医療療養給付交付金等の精算で6,252万円増額、介護保険特別会計（事業勘定）で前年度介護給付費負担金などの精算で2,608万円を増額しました。

補正予算の状況

内訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	274億9,000万円	16億8,885万円	291億7,885万円
特別会計	144億5,640万円	2億0,540万円	146億6,180万円
企業会計	71億2,660万円		71億2,660万円
合計	490億7,300万円	18億9,425万円	509億6,725万円

補正額には昨年度からの繰越明許費を含む 企業会計の予算額は歳出予算

一般会計44.7%が収入済み

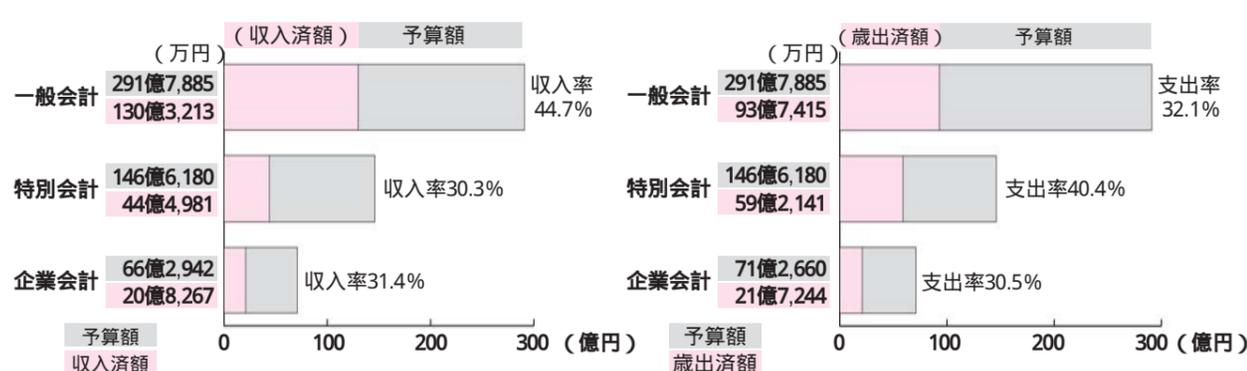
一般会計では、収入率44.7%、支出率32.1%で、特別会計合計は、収入率30.3%、支出率40.4%となっています。

一般会計の支出は、建設事業の工事費や委託料は事業が完了してからの支出となりますので支出率は低くなっています。また特別会計の収入では国、県支出金や市債は事業が完了後に収入となることや、一般会計繰入金が年度末となることから、収

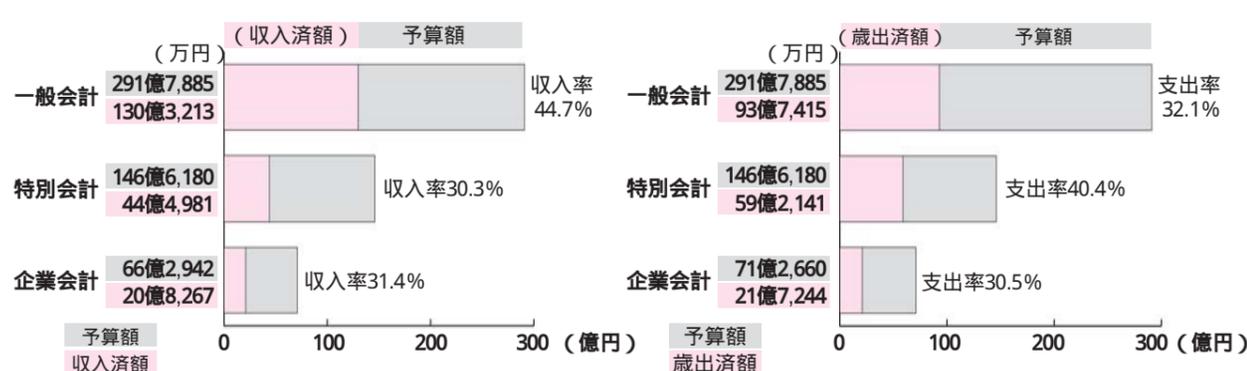
入率は低くなっています。
また、企業会計では、水道事業会計の収益的支出が24.6%と資本的支出が5.6%となっていますが、固定資産の減価償却費や建設事業費の支出が下半期となっているために低くなっています。病院事業会計では収益的支出が36.5%、資本的支出が30.5%となっていますが、収益的支出は病院の医薬費用が主な予算であるため、順調に支出されています。

資本的支出は施設改修工事や医療機器等の建設事業費であるため低くなっています。国民健康保険診療所事業会計では収益的支出が37.2%で、資本的支出は3.8%となっていますが、これは人工透析施設整備事業の支出が年度末になるためです。また介護老人保健施設事業会計は収益的支出46.7%、資本的支出42.7%となっており、両支出とも順調に執行されています。

歳入の状況



歳出の状況



市の借金は約588億円、市の貯金は約112億円

市債の状況を下の表にまとめました。9月30日現在の借入残高は一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて588億3,793万円、市民一人当たりでは104万6,826円となっています。（この借金の返済のうち、おおよそ半分は国が交付税として手当てをする約束となっており、実際の市の借金（市債）の状況

区分	現在高	市民一人当たり
一般会計	359億0,983万円	63万9,668円
特別会計	185億1,848万円	32万9,475円
企業会計	44億0,962万円	7万8,455円
市債総計	588億3,793万円	104万6,826円

の負担は半分となります。）
一方、9月末で基金は、29億83万円の財政調整基金、14億1,189万円の地域振興基金など一般会計分の積み立てる基金で80億4,957万円となりました。

このほか運用する基金として、公共事業用地の先行取得を行う土地開

市の貯金（基金）の状況

区分	現在高	市民一人当たり
積み立てる基金	97億5,457万円	17万3,550円
一般会計に属する基金	80億4,957万円	14万3,215円
特別会計に属する基金	17億0,500万円	3万0,335円
運用する基金	11億5,242万円	2万0,504円
企業会計の基金	2億8,854万円	5,134円
基金総計	111億9,553万円	19万9,187円

市税収入率は61%

市税収入は、予算額に対して61.0%と順調に納入されています。株式譲渡所得割交付金や国庫支出金、県支出金、市債などは、年度末に納入されるため、非常に低い収入率となっていますが、ほぼ予算額どおり納入される見込みです。

歳出については、借金の返済（公債費）や給料など毎月決まって支出するものは、支出率も順調ですが、建設事業などを多く持っている衛生費、農林水産業費、土木費は年度末の支出が多く、支出率は低くなっています。また民生費は国民健康保険

や老人保健医療、介護保険事業などの繰入金が下半期に支払われることから、支出率が低くなっています。一般会計においても、市全体の歳入・歳出の状況と同様、収入率・支出率とも例年通りとなっています。

一般会計収入の状況

科目	現計予算額 (万円)	収入済額 (万円)	収入率 (%)
市税	72億5,315	44億2,080	61.0%
地方譲与税	4億3,080	1億2,596	29.2%
利子割交付金	2,750	1,379	50.1%
配当割交付金	1,390	608	43.7%
株式等譲渡所得割交付金	2,750	0	0%
地方消費税交付金	5億1,890	3億1,054	59.8%
ゴルフ場利用税交付金	1億2,700	5,663	44.6%
自動車取得税交付金	2億6,230	5,941	22.6%
地方特例交付金	7,023	7,672	109.2%
地方交付税	82億0,000	57億3,414	69.9%
交通安全対策特別交付金	720	0	0%
分担金及び負担金	3億4,561	1億1,459	33.2%
使用料及び手数料	5億0,857	1億8,461	36.3%
国庫支出金	13億5,334	1億0,822	8%
県支出金	22億1,518	1億1,949	5.4%
財産収入	1億4,574	5,116	35.1%
寄附金	4,292	3,279	76.4%
繰入金	11億7,145	200	0.2%
繰越金	13億8,176	13億8,176	100%
諸収入	6億4,930	2億3,344	36%
市債	44億2,650	0	0%
合計	291億7,885	130億3,213	44.7%

一般会計支出の状況

科目	現計予算額 (万円)	支出済額 (万円)	支出率 (%)
議会費	2億4,260	1億2,120	50.0%
総務費	41億6,709	14億0,604	33.7%
民生費	56億3,912	18億1,510	32.2%
衛生費	37億9,392	9億0,269	23.8%
労働費	5,270	4,700	89.2%
農林水産業費	15億1,868	3億4,285	22.6%
商工費	5億0,549	2億0,479	40.5%
土木費	38億9,821	5億6,813	14.6%
消防費	17億4,756	6億6,665	38.1%
教育費	32億2,764	11億6,185	36.0%
災害復旧費	1億1,613	6,026	51.9%
公債費	42億3,971	20億7,759	49.0%
予備費	3,000	0	0.0%
合計	291億7,885	93億7,415	32.1%